

2021年10月20日  
一般社団法人 J ミルク

## 「酪農乳業ネットゼロへの道筋」への参加表明について

J ミルクは、気候変動に対する酪農乳業セクターの国際連携の一環で、グローバル・デーリー・プラットフォーム(GDP)が国連食糧農業機関(FAO)や国際酪農連盟(IDF)、学術研究機関の「農業温室効果ガスに関するグローバル・リサーチ・アライアンス(GRA)」などさまざまな国際組織と協力して本年 9 月に開催された国連食料システムサミットの時期に合わせて立ち上げた、「酪農乳業ネットゼロへの道筋」の取り組み(イニシアチブ)への支持を表明します。また、11 月に開催される第 26 回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)に向けて「酪農乳業ネットゼロへの道筋」宣言書に署名します。

「酪農乳業ネットゼロへの道筋」は、農業分野の気候変動対策としては他に類を見ない取り組みであり、牛乳乳製品の温室効果ガス排出原単位をさらに低減するために、今後 30 年間で酪農乳業セクターの温室効果ガス排出量を削減することで、この業界の気候変動対策を加速させます。「酪農乳業ネットゼロへの道筋」は、以下の 6 つの基本方針を推進するものです。

- ① 生乳生産および加工処理の効率化を継続的に実施する「緩和」
- ② 炭素吸収源(土壌、森林、草原、泥炭地)を保護し、自然の生態系を補完する生産方法を強化する「温室効果ガス除去」
- ③ 飼料、糞尿、肥料、エネルギー管理などの慣行を改善する「回避と適応」
- ④ 代替となる信頼できる削減方法を特定し、実施する「インセツとオフセツ」
- ⑤ 温室効果ガスの排出量を測定することで、緩和策を計画し、進捗状況を監視する「測定と監視」
- ⑥ このイニシアチブを推進し、酪農乳業セクターの気候変動への野心を強調する「全体のサポート」

また、「酪農乳業ネットゼロへの道筋」の実際の取り組みにおいて、温室効果ガス排出量の測定と報告については、FAO の「世界畜産環境評価モデル(GLEAM)」を用いて実施され、「デーリー・サステナビリティ・フレームワーク(DSF)」が世界の酪農乳業界のとりまとめを行う方針が示されており、JミルクはDSFに統括会員(アグリゲーティング・メンバー)として加盟しています。

J ミルクは、全ての持続可能な開発目標の達成に向け、持続可能な食料システムへの変革のための具体的な行動を推進するために開催される国連食料システムサミットへの支持を表明しました。また、国連食料システムサミットにコミットメントを提出し、持続可能な食料システム、特に「栄養・供給の両面にわたる食料安全保障」「食料消費の持続可能性」「環境に調和した農業の推進」の実現に貢献するため、日本政府の「みどりの食料システム戦略」及び世界の酪農セクターである国際酪農連盟(IDF)とグローバル・デーリー・プラットフォームと連携し DSF などの国際

的な枠組みを活用しながら、「酪農乳業戦略ビジョン」を酪農家・乳業者・研究者・政府などと一体的に進めることとし、以下の3つの具体的な取組・目標を設定しました。

- ① 世界の酪農乳業セクターが進める「学校給食プログラム」の活動と連携し、子ども達のバランスの取れた栄養に不可欠な学校給食牛乳の安定供給に貢献します。
- ② 牛乳乳製品の安定供給を通して、日本人の栄養課題であるカルシウム不足や塩分過剰を補いつつ、植物性食品と動物性食品をバランスよく組み入れた、持続可能で健康的な日本型の食事パターンの維持に貢献します。
- ③ 「アニマルウェルフェア・労働環境」「温室効果ガスの削減・物質循環型の生産」「家族経営の安定と発展、地域社会への貢献」について、数値目標を設定し推進に努めます。

今回 J ミルクが「酪農乳業ネットゼロへの道筋」宣言文に署名することにより、食料システムサミットに提出した J ミルクコミットメントで設定した具体的な取組・目標のうちの「温室効果ガスの削減」の数値目標の設定と推進に向けて、「酪農乳業ネットゼロへの道筋」の取り組みから得られる情報が活用され、「みどりの食料システム戦略」にも合致した我が国酪農乳業の状況に沿う温室効果ガス削減に向けた技術開発および普及などの施策を具体化するための酪農家・乳業者・研究者・政府などとの協議が、酪農乳業戦略ビジョン特別委員会を中心に加速すると期待されます。

また、GDP では全世界の酪農乳業界の企業や団体に対して「酪農乳業ネットゼロへの道筋」宣言書への支持・署名を求め、酪農乳業界の共通行動として世界の人々に幅広く認知してもらうためにコミュニケーション活動を行うこととしています。そのため、J ミルクでは GDP と歩調を合わせて日本国内への「酪農乳業ネットゼロへの道筋」のコミュニケーション活動について、伝わりやすい手段の開発を含めて推進していきます。

以上